



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社 極洋

上場取引所 東

コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	197,783	0.3	3,280	15.1	3,923	3.5	2,501	10.2
30年3月期第3四半期	198,323	10.2	3,863	34.5	4,065	43.8	2,784	13.7

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,692百万円 (20.9%) 30年3月期第3四半期 3,404百万円 (4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	231.46	221.79
30年3月期第3四半期	265.04	245.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	130,246	31,533	23.9
30年3月期	106,297	29,243	27.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 31,143百万円 30年3月期 28,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				60.00	60.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	267,000	4.8	4,800	18.0	4,600	3.7	3,200	0.3	296.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	10,928,283 株	30年3月期	10,928,283 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	109,112 株	30年3月期	144,712 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	10,807,451 株	30年3月期3Q	10,505,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等が続き、緩やかな回復基調で推移しております。

一方、水産・食品業界におきましては、人手不足による労働コスト・物流コストの上昇に加え、世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇など、厳しい状況は続いております。

このような状況のもとで、当社グループは、平成30年4月より新中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』（2018年度～2020年度）をスタートさせました。『魚を中心とした総合食品会社として、高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と時間価値の提供により企業価値の向上を目指す』という基本方針のもと、『ESG重視の事業活動』を通じて『拡大』『強化』『均衡』の各戦略を進めることで、高収益構造へ大きく転換していくことを目指しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,977億83百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は32億80百万円（前年同期比15.1%減）、経常利益は39億23百万円（前年同期比3.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億1百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)Ⅱ当第3四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

(水産商事セグメント)

年末商戦を最大の需要期とする水産商事においては、各魚種とも積極的な販売を行いました。鮭鱒は付加価値加工品などの取扱いにより売上を伸ばし、また海外販売におけるサバ・イワシの輸出、米国子会社の現地販売などが伸長しました。更に、カニやイクラなどの取扱いが順調に推移し、第3四半期は前期を上回る利益を計上することができました。しかしながら、苦戦を強いられた上半期までの業績を補うまでには至らず、売上・利益ともに前年同期を下回りました。

水産商事セグメントの売上高は968億75百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は21億39百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

(冷凍食品セグメント)

水産冷凍食品事業では寿司種を中心とした生食用商品及び切身・煮魚などの加熱用商品の拡販に努め、特に煮魚などの個食サイズの販売が伸長しました。調理冷凍食品事業ではカニ風味かまぼこや白身フライなどが、家庭用冷凍食品事業では塩釜工場製品の販売が順調に推移しました。この結果、売上は前年同期を上回りましたが、利益は水産商事同様、上半期までの業績をとり戻すには至らず、前年同期を下回りました。

冷凍食品セグメントの売上高は634億5百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は8億33百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

(常温食品セグメント)

缶詰販売は、サバ缶に対する需要拡大に伴い供給不足が発生いたしました。これに対しイワシ缶などその他水産缶詰の販売に注力したものの伸ばすことができず、売上は前年同期を下回りました。一方、珍味製品においては、販売が好調に推移したほか、規格変更などのコストアップ対策に取り組んだことにより、利益は前年同期を上回りました。

常温食品セグメントの売上高は143億95百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は3億63百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

(物流サービスセグメント)

連結子会社において会社分割及び株式譲渡を行なったことにより、売上は前年同期を下回りましたが、在庫貨物の確保を図り、配送事業強化に努めた結果、利益は前年同期を上回りました。

物流サービスセグメントの売上高は7億63百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は2億10百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

(鯉・鮪セグメント)

加工及び販売事業は、クロマグロなど脂物製品や、マグロタタキ、カツオ加工品の取扱いを伸ばしました。養殖事業は、前期に初出荷を行った完全養殖クロマグロをはじめとして、安定出荷に努めました。一方、海外まき網事業は、前年同期と比べ水揚げ数量は上回ったものの、魚価が大幅に下落しました。この結果、売上・利益とも前年同期を下回りました。

鯉・鮪セグメントの売上高は220億49百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は6億3百万円（前年同期比31.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ239億48百万円増加し、1,302億46百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ239億22百万円増加し、1,051億40百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、251億5百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金や借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ216億58百万円増加し、987億12百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ22億90百万円増加し、315億33百万円となりました。

この結果、自己資本比率は23.9%(前連結会計年度末比3.3ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、平成30年5月10日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,046	5,419
受取手形及び売掛金	32,879	51,332
たな卸資産	39,923	46,206
その他	3,382	2,191
貸倒引当金	△13	△8
流動資産合計	81,218	105,140
固定資産		
有形固定資産	15,377	15,369
無形固定資産		
のれん	11	—
その他	486	508
無形固定資産合計	497	508
投資その他の資産		
投資有価証券	5,272	5,700
その他	5,747	5,342
貸倒引当金	△1,816	△1,814
投資その他の資産合計	9,203	9,227
固定資産合計	25,078	25,105
資産合計	106,297	130,246

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,693	12,621
短期借入金	19,384	37,487
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,850	—
未払法人税等	771	268
引当金	965	417
その他	8,434	9,179
流動負債合計	52,100	69,974
固定負債		
長期借入金	19,800	23,964
引当金	171	146
退職給付に係る負債	4,610	4,336
資産除去債務	54	50
その他	316	238
固定負債合計	24,954	28,737
負債合計	77,054	98,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,261	1,308
利益剰余金	22,218	24,204
自己株式	△315	△244
株主資本合計	28,828	30,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	928	836
繰延ヘッジ損益	△68	48
為替換算調整勘定	200	211
退職給付に係る調整累計額	△999	△886
その他の包括利益累計額合計	60	210
非支配株主持分	353	389
純資産合計	29,243	31,533
負債純資産合計	106,297	130,246

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	198,323	197,783
売上原価	179,339	179,411
売上総利益	18,983	18,372
販売費及び一般管理費	15,120	15,091
営業利益	3,863	3,280
営業外収益		
受取利息	18	24
受取配当金	76	104
持分法による投資利益	86	161
補助金収入	76	322
為替差益	134	218
その他	109	188
営業外収益合計	502	1,020
営業外費用		
支払利息	323	326
貸倒引当金繰入額	△54	△0
その他	31	51
営業外費用合計	300	377
経常利益	4,065	3,923
特別利益		
固定資産処分益	11	2
国庫補助金等収入	1	5
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	12	8
特別損失		
固定資産処分損	2	3
災害による損失	—	66
和解金	—	153
投資有価証券評価損	—	14
固定資産圧縮損	—	5
その他	—	21
特別損失合計	2	265
税金等調整前四半期純利益	4,074	3,666
法人税、住民税及び事業税	1,408	806
法人税等調整額	△95	322
法人税等合計	1,313	1,128
四半期純利益	2,761	2,537
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,784	2,501
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	36

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	480	△91
繰延ヘッジ損益	△160	117
為替換算調整勘定	172	17
退職給付に係る調整額	149	112
その他の包括利益合計	642	155
四半期包括利益	3,404	2,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,424	2,651
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	103,029	57,039	14,600	785	22,585	282	198,323	—	198,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,591	3,213	207	1,271	1,489	941	29,714	△29,714	—
計	125,621	60,253	14,807	2,057	24,074	1,224	228,038	△29,714	198,323
セグメント利益又は 損失(△)	2,560	905	297	196	877	△99	4,738	△874	3,863

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額874百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用970百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	96,875	63,405	14,395	763	22,049	293	197,783	—	197,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,545	4,030	186	1,335	2,711	927	36,737	△36,737	—
計	124,420	67,436	14,581	2,099	24,761	1,221	234,520	△36,737	197,783
セグメント利益又は 損失(△)	2,139	833	363	210	603	△104	4,046	△766	3,280

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額766百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用864百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、従来「水産商事」に属しておりました(株)エィペックス・キョクヨーを「冷凍食品」の区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。